

鷲尾順敬 じうびのりあき 佛教史學者、文學博士。慶應四年二月十八日攝津國大坂生れ、昭和十六年一月十二日歿（一八六一—一九四二）。號仰天樓、博雲、天風閣主人、寂光廬、解園、武山閑樵、無名子、裕雨庵、稽古園主人、藍山、藍山莊主人、藍山閑樵、降魔窟、魔天窟。折學館卒。村上專精に創事して佛教史を研究、境野黃洋と共に村上門下の雙璧と稱せられた。雜誌『佛教史林』を編輯、明治四十四年佛教史學會を創設して機關誌『佛教史學』を創刊。東京帝國大學史料編纂所に勤め、兼て東洋大學教授、駒澤大學教授を歴任。

著書に、『鎌倉武士と禪』（大正五年十一月二十九日日本學術普及會「歴史講座」）、『佛教風俗灌漑佛會』（昭和四年四月八日山喜房）、『人間・時宗—經國の偉人』（昭和十一年五月二十日日本學術普及會）、『日本佛教文化史研究』（昭和十二年四月十日富山房）等。

